

陸上空母
離着陸訓練

鹿児島

馬毛島への米軍訓練移転やめよ

地元1市3町が「反対」。地元の意思、尊重せよ 赤嶺議員がたがす



日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は5月19日、衆議院安全保障委員会で質問にたち、米軍再編と米軍空母艦載機の訓練を鹿児島県西之表市の馬毛（まげ）島で行うよう北沢防衛相が検討を指示したと報じられた問題で質問しました。

赤嶺議員は、種子島と屋久島の一市三町でつくる米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会が訓練反対の要望書を防衛省に提出していること、現地では会長の西之表市長が「大変憤りを感じると表明し、現地・種子島と屋久島の1市3町で反対の意思を確認した事実を示し、ただしました。

●赤嶺議員 こうした地元自治体、住民の意思を重く受けとめるべきだ。

●北沢防衛大臣 特定の地名を出して指示はしていない。あれもだめ、これもだめというようなどことを言われるのは、沖縄の負担軽減をしていく中では余り生産的ではないのでは。

●赤嶺議員 馬毛島に空母艦載



●馬毛島 鹿児島県・種子島の沖合十三キロに位置する無人島。島の大半を所有する開発業者が米空母艦載機の夜間離着陸訓練（NLP）の誘致を表明している。
馬毛島周辺一市三町の首長はNLP施設の建設にそろって反対。

機の訓練を移転するのは、どこから見ても沖縄の負担の軽減じゃない。沖縄を口実に、地元自治体の頭越しに米軍再編をやるものだ。アメリカにモノを言うべきだ。

日本共産党

◎日本共産党鹿児島県委員会とまつざき真琴県議は17日、米空母艦載機部隊の発着訓練を西之表市沖の馬毛島で行う案が再浮上した問題で、伊藤祐一郎知事に地元自治体と共同し、反対の意思を政府に表明するよう申し入れました。提出した申し入れ書を紹介します。

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎 殿

馬毛島への米軍訓練移転に関する申し入れ

16日の新聞報道によると、在日米軍再編で、米軍厚木基地から岩国基地に移転する空母艦載機について陸上空母離着陸訓練（FCLP）を西之表市の馬毛島で実施する方向で最終調整に入ったとされている。

過去にも馬毛島での米軍訓練移転情報があり、地元自治体の首長・議長でつくる米軍基地等馬毛島移設問題対策協議を持ち、政府に対して多数反対の意思表明がなされてきた。今回の報道を受け、昨日、協議会が開催され、強く反対の意思確認がなされたと聞く。また、地元住民も、集会や署名活動などを行い、繰り返し反対の意志を表明してきている。

種子島は農林水産業が中心の地域であり、屋久島は世界遺産に登録された島で観光業が盛んな地域である。FCLPが移転することになれば、農林漁業や観光への影響は甚大であり、住民生活も騒音や事故の危険にさらされることになる。

今、国内では東日本大震災が発生し、多くの国民が被災者の支援や復興に心を寄せ、力を尽くしていきたいと願っている。実際に、国力を挙げ、あらゆる力を結集していかなければ、全被災者の復興は果たせない。

そういう最中に、人命を傷つけ、あらゆるものを破壊する戦争のための米軍訓練のために新たな支出をするなど到底認められるものではない。そもそも、洋上基地（司令部）としての機能を持ち、海の上のどこからでも航空機を発進させることができる空母は、日本の防衛とは無縁のものである。今の日本に必要なことは、軍費を削り、米軍への思いやり予算をなくするなど、平和を守り、国民の命と暮らしを守る政治である。

記

1. 米軍の陸上空母離着陸訓練の馬毛島への移転計画の情報について、早急に政府に確認し、その内容を県民に公表すること。

2. 地元自治体と共同し、政府に対して強く訓練移転反対の意志を表明すること。

2011年5月17日
日本共産党鹿児島県委員会
委員長 野元 徳英
日本共産党県議団
代表 まつざき真琴

以上